

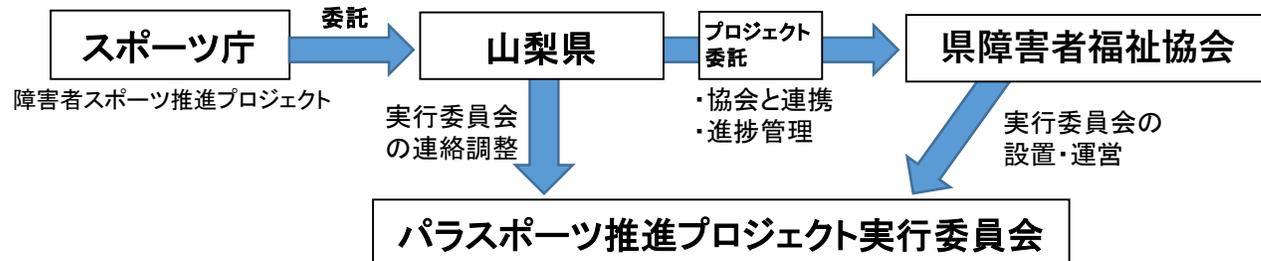
【資料 2】

パラスポーツコーディネーター配置事業の概要

令和4年6月21日

パラスポーツ推進プロジェクト実行委員会
山梨県スポーツ振興課 パラスポーツ担当

パラスポーツ推進プロジェクトについて(パラスポーツ・コーディネーター配置事業)



- 障害者スポーツの普及促進と関係者の連携強化を図るため、様々な分野からなる官民学が一体となった実行委員会を設置
- ・県の障害者スポーツ施策の現状と課題を共有し、障害者スポーツの普及と関係者の連携強化を推進するための原動力。
 - ・地域における課題の分析及びその解決に向けた効果的な実践研究の方策を検討。

パラスポーツ推進プロジェクトの内容

目指す姿 (関係づくり)(人づくり)(拠点づくり)により、誰もが身近な場所でスポーツに参加可能な社会

→地域でスポーツに親しめる「機会を創出」するため、「関係づくり」「人づくり」「拠点づくり」によるプロジェクトを推進

関係づくり

- 関係団体との連携を中核的に担うコーディネーターの配置
 - ・県障害者福祉協会へパラスポーツコーディネーター2名を配置
- スポーツ団体、福祉、教育、企業等が行っている障害者スポーツ事業の情報把握、連携体制の構築
 - ・パラスポーツ推進プロジェクト実行委員会の設置・運営
- 各種相談に対応するための窓口設置
 - ・障害者本人や支援者、スポーツ団体等からの相談に対応する窓口を設置し、相談内容に応じてスポーツクラブ、競技団体への受け入れ調整や、初回参加時の同行など、障害者のスポーツ活動が円滑に行われるようコーディネートする。

人づくり

- 障害者スポーツの普及啓発を目的とした研修会及びフェスティバルの開催
 - ・研修会(パラアスリートや学識経験者による講演会等)の企画・運営
 - ・障害の有無に関わらず、誰もが参加できるパラスポーツフェスティバルの開催

拠点づくり

- プロジェクトの実践研究、実施事例(モデル)の収集
 - ・4圏域のスポーツクラブ等の関係団体と連携に向けた調整、実践
 - ・特別支援学校施設を活用したスポーツ交流教室の開催

既存事業を拡充

実行委員会構成団体

【山梨県】

スポーツ振興課、障害福祉課、保健体育課
特別支教育・児童生徒支援課

【福祉】

山梨県障害者福祉協会
山梨県ボランティア・NPOセンター

【障害者スポーツ団体】

山梨県障害者スポーツ協会
山梨県障がい者スポーツ指導員協議会
山梨県ボッチャ協会

【スポーツ団体】

山梨県スポーツ協会
山梨県スポーツ推進委員協議会

【企業】

ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ

【教育】

山梨学院大学、特別支援学校体育連盟

連携し取り組む

プロジェクトにおけるコーディネーターの役割

関係づくり 「人づくり」「拠点づくり」を推進するためのステークホルダーとの関係づくり

- パラスポーツ推進プロジェクト実行委員会を開催し、関係団体が実施する障害者スポーツ事業の情報を把握、共有。
- 4 圏域毎のモデルとなる総合型地域スポーツクラブ、特別支援学校等（モデル団体）を選定する。
 - ・ 現地を訪問し、プロジェクト取組への協力を依頼する。（新たな団体、企業、地域を巻き込む）

短期的な目標 地域スポーツの場（総合的型地域SC等）でモデル団体と連携したスポーツ体験会の開催

（モデル団体による、障害者と健常者を対象としたスポーツ体験会実施までの例）

1. コーディネーターが中心となり、スポーツ体験会を企画することで、モデル団体へノウハウを伝達する。
2. パラ競技団体とモデル団体との橋渡しを行い、パラ競技団体へ研修会開催の要請を行って実技研修を実施し、パラ競技の知識獲得を支援する。
3. スポーツ体験会へのボランティアの募集（ボランティアボード等を活用）及び派遣の調整を行う。
4. スポーツ体験会当日の運営補助及び障がい者スポーツ指導員の派遣、スポーツ用具の貸出を行う。
5. スポーツ体験会の参加者へのアンケート調査を実施し、実施効果を分析する。
6. 新たなモデル団体を選定し、実践事例（モデル）を収集する。

長期的な目標

身近な場所でスポーツに参加できる環境整備の推進により、普及啓発から競技人口の拡大、育成強化までのトータルサポート体制の確立を目指す。

～プロジェクトの例～ 既存事業を活用した関係団体との連携による、課題解消へのアプローチ

黒字：これまでの取組
赤字：連携による新たな観点・取組

【人づくり】

障害者スポーツ指導員派遣

専門的知識を有する指導員を各団体等の要請に基づいて県下各地域へ派遣し、障害者スポーツの普及を図る。

→これまで派遣事例のなかった地域スポーツの場（総合的型地域SC等）へ指導員を派遣し、ノウハウを伝達して体験会の開催に繋げる。

(参加機会の不足解消)

【人づくり】

障害者スポーツ指導員研修(初級取得)

日本パラスポーツ協会認定「初級障がい者スポーツ指導員養成講習会」を開催し、資格取得を支援する。

→スポーツ推進委員やスポーツクラブの指導者へ受講を広く呼びかけるとともに、個別に訪問して受講者を募り、資格取得者を増やすことで、障害者スポーツを指導可能な指導者の人材を確保する。

(指導者の不足解消)

【拠点づくり】

スポーツ交流教室開催

障害者と健常者のスポーツを通じた交流会を実施し、障害理解の醸成及び社会参加を促進する。

→4圏域毎のモデル校と連携した交流教室を実施する。在校生、障害福祉施設及び地域の企業等へ参加を呼びかけ、地域に開かれたスポーツ拠点としての実用性、ニーズを検証する。

(情報発信力の不足解消)

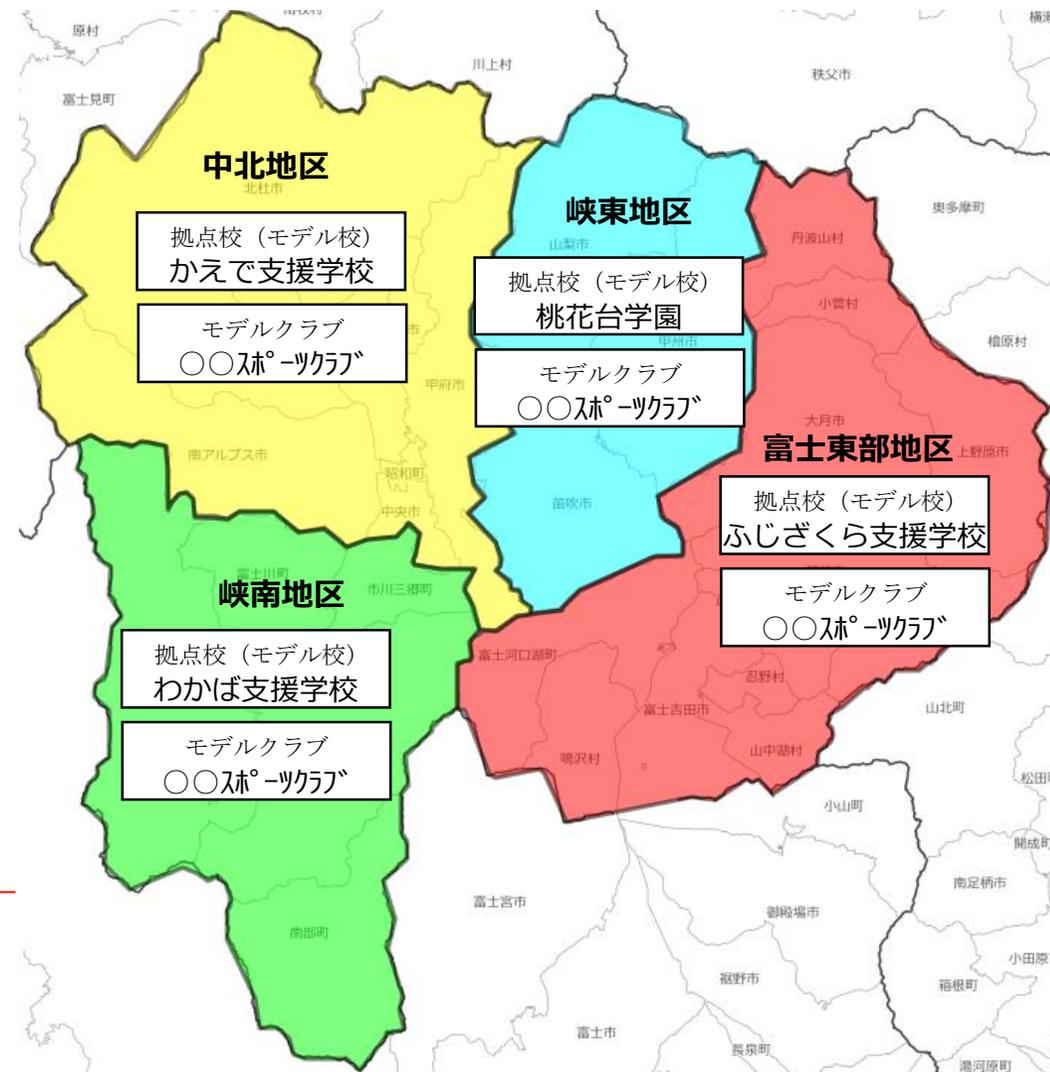
【拠点づくり】

障害者スポーツ用具貸出・整備

貸出し用の障害者スポーツの用具について、新たにスポーツ車いす等を整備し、障害者スポーツ協会内へ配備する。

→企業や地域の協賛を募り、寄付により新たな用具を整備し、モデル団体へ整備する。

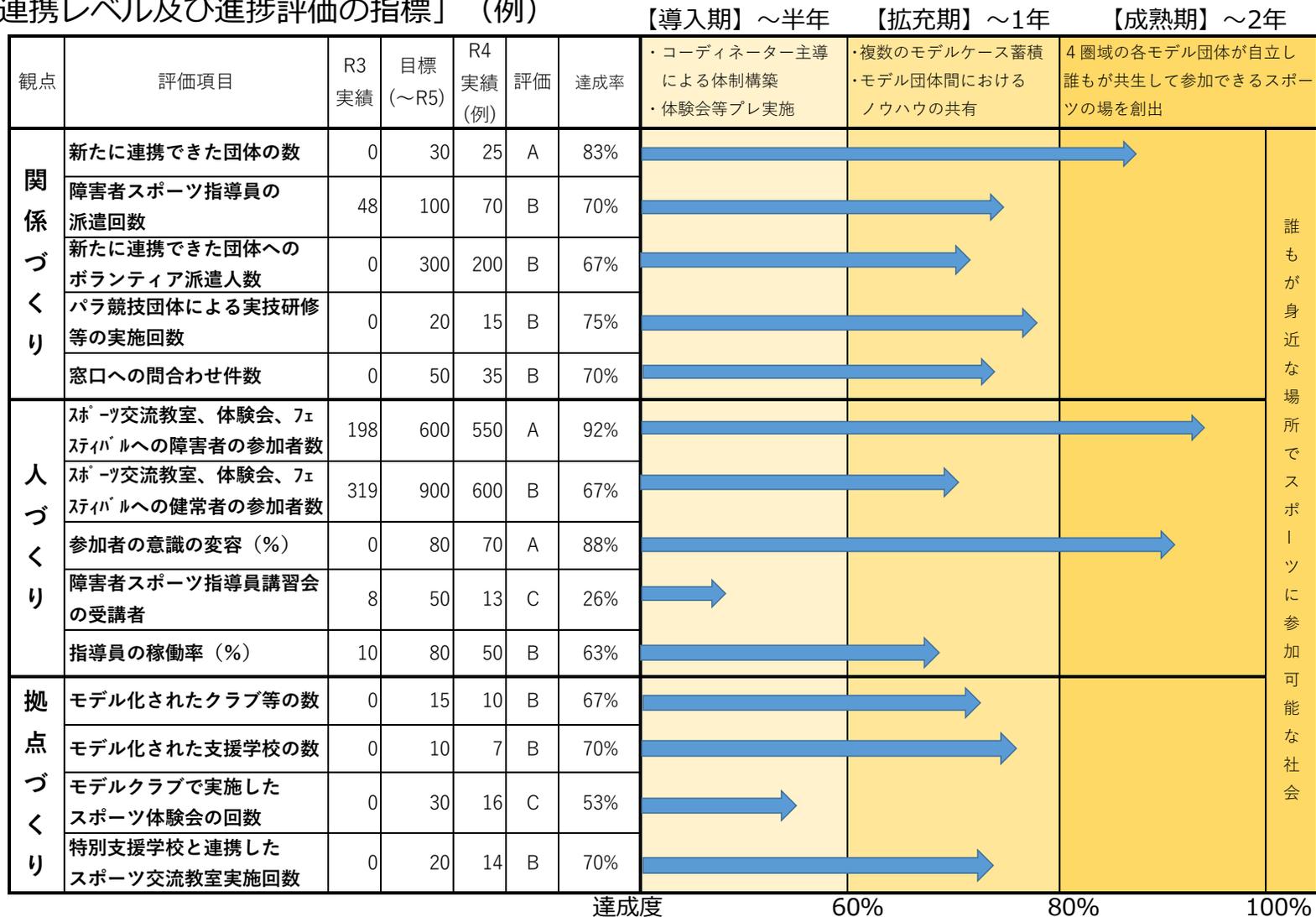
(活動拠点の不足解消)



パラスポーツ推進プロジェクト実行委員会の役割

- ・年4回開催の実行委員会において、各関係団体における取組状況の確認や実践例の共有化を図る。
- ・成果と課題についての意見交換、次回実行委員会に向けた目標の設定等、PDCAサイクルにより達成率向上に向けた実践の方策を検討する。

[連携レベル及び進捗評価の指標] (例)



評価 (目標に対する達成率)

A…80%以上

B…60%以上

C…60%未満